

# 障がい児者医療学寄附講座のこれから

大学院医学系研究科 寄附講座 障がい児者医療学講座（岐阜県）准教授相当・西村 悟子、助教相当・山本 崇裕、小児病態学講座 教授・深尾 敏幸

E-mail bell-taka@abeam.ocn.ne.jp

## 概要

障がい児者医療学寄附講座は、岐阜県と小児病態学講座が協力して創設されました。本講座では、障がい児者医療に携わる医療スタッフの人材育成、より効果的な医療システムの構築、障がい児者医療の質を高める研究を行います。

## 内容

本講座は設置期限である3年間の活動の柱として、下記の5つを進めていきます。

### 現状把握・課題発掘

- ・ 県内の障がい児者の実態調査（重症心身障がい児者について現在調査進行中）

### 卒前・卒後医学教育

- ・（卒前教育）障がい児者医療学のカリキュラムの実施
- ・（卒後教育）若手医師の障がい児者医療・療育研修

(\*1)

### 地域での医療推進

- ・ 岐阜県版医療的ケアガイドラインの作成
- ・ 各医療施設間の情報共有を図る連絡協議会の開催
- ・ 発達障がい児者の療育資源を有効活用する方法の検討

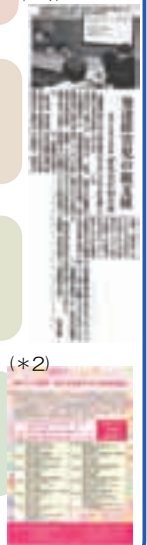
### 障がい児者医療に従事する医師の育成

- ・ 医療的ケアの実技講習会の開催
- ・ 育児中の女性医師や発達障がいに関心のある医師による研修会(\*1)

### 地域での普及啓発

- ・ 岐阜県と連携し、医療・福祉関係者や一般県民に対する講演会や公開連続講座の開催(\*2)

(\*2)



## アピールポイント

### 中高生のみなさんへ

障がい児者医療とは、障がいを持つ方々のためだけの医療ではありません。全ての人々が適切な医療を受け、安心して暮らせるようにすることが大切だと私たちは考えています。また、医療や福祉に携わる全ての職種、分野においても、温かく人と関われる人材育成を目指しています。

### 産業界・地域の方へ

障がい児者医療は、医療機関のみで完結するものではありません。より多くの方々のニーズに応えるためには、地域の方々の温かい御理解が必要です。近年、障がいを持つ方々の暮らしをよりよいものに変える様々な商品・サービスも開発されており、医療機関や行政にとらわれない自由な発想が多くの方々の生活を支えています。これからも御協力をお願い申し上げます。